

### 3 平成30年度 学校教育計画の評価

| 項目                    | 6 実施項目に対する評価  | 7 次年度の課題   | 次年度の方策   |
|-----------------------|---|--|--|
| (1)校務運営               | <p>①各部・教科・学年間の情報の共有化。<br/>職員会議や校務運営委員会などの協議をもとに、各種情報の共有化と共通理解が図られた。</p> <p>②教職員の意欲的な参画意識の醸成。<br/>常に報告、連絡、相談の姿勢を忘れず、分掌間の調整と協力体制を保ちながら教育活動が行われた。</p>  | <p>①目指す生徒像を明確にし、本校が抱える課題や問題点を解明にする。</p> <p>②分掌間の効果的な連携のあり方を目指す。</p>  | <p>①本校の目指すべき方向性について共通理解を図り、重点項目を策定する。</p> <p>②わかりやすい構造図を示しながら、教育活動への意欲的な取り組みを推進する。</p>   |
| (2)教育課程               | <p>①教育課程の編成<br/>・年間6回の教育課程委員会を実施し、教育課程の編成や運用を協議した。<br/>イ 新学習指導要領の完全実施を受け、各学年の問題点や見直すべき点を検討した。</p> <p>②科目選択のしおり(シラバス)の作成<br/>・1年次生の分野科目選択説明会の実施<br/>ア 6/20(水) 1学年生徒全員<br/>イ 6/30(土) 保護者対象 出席保護者数83名。</p>   | <p>・教育課程の内容の確認と検討を行う。</p> <p>・分野と科目選択が円滑に行われるように、「産業社会と人間」、分野科目説明会、面接等の充実を図る。<br/>・「主体的、対話的で深い学び」いわゆるALの視点からの授業改善の充実をはかる。</p>  | <p>・教育課程委員会を中心に各分野の目標に合った教育課程を検討する。<br/>・進路実現に向け、適切な分野科目選択ができるよう学年、教科、分野との積極的な連携を図る。<br/>・主体的に学習に取り組む場面を設定し、ALの視点からの学習、指導方法の改善をはかる。</p>      |
| (3)教科指導<br><b>重点1</b> | <p>①指導内容の充実と指導方法の改善について&lt;詳細はアクションプラン参照&gt;</p> <p>②基礎学力の定着について<br/>・日頃の学習時間が大変不足している。<br/>・「科目選択のしおり&lt;シラバス&gt;」を作成して、学習方法や指導計画を示し、身につけるべき能力を明確化したが、理解不十分な生徒がいる。</p>   | <p>・指導内容の充実と指導方法の改善について&lt;詳細はアクションプラン参照&gt;</p> <p>・どのようにして家庭学習習慣を定着させるか。<br/>・シラバスの見直しと効果的な活用方法。</p>   | <p>・互見授業のさらなる充実を図る。<br/>・新学習指導要領の完全実施にあわせ、シラバスの内容をより分かりやすいものにする。<br/>・課題の提出率を高めるようにする。</p>   |
| (4)生徒指導<br><b>重点2</b> | <p>①頭髪服装指導について&lt;詳細はアクションプラン参照&gt;</p> <p>・年間の指導日を提示し、保護者にも協力を依頼することで、計画的に自己管理を行うという意識改善を促すことができた。</p> <p>②スマートフォンの指導について&lt;詳細はアクションプラン参照&gt;</p> <p>・講演会を開催し、ネット使用のルールやマナーについて考える機会を設定した。ネットパトロールでの指導が昨年度に引き続き、減少した。<br/>・校内の使用ルールを再確認し、ルールを守れない生徒には、家庭にも連絡、協力を依頼した。そのため、違反する生徒は、限られてきたが、依存傾向の生徒も見られる。</p> | <p>①頭髪服装指導について&lt;詳細はアクションプラン参照&gt;</p> <p>・保護者と連携し継続した指導が必要。また、さわやか委員を中心とする生徒主体の生徒への呼びかけ、意識作りを大切にする。</p> <p>②ネットパトロール指導について&lt;詳細はアクションプラン参照&gt;</p> <p>・保護者と協力し、ネット使用に関する規範意識も含め利用マナーの向上に取り組む。</p> | <p>・学年、生徒会等とも連携し、月毎の重点指導目標や指導強化週間を設定し生徒自らが具体的に目標を持って、生活できるようにする。</p> <p>・PTA、生徒会と連携しながら本校のネットルール作りに継続して取り組む。さらに各家庭でのルール作りについても親子で考えてもらう。</p> |
| (5)特別活動<br><b>重点4</b> | <p>①ボランティア等の校外活動の参加数について&lt;詳細はアクションプラン参照&gt;</p> <p>・ボランティアサポーター登録数69名、参加延べ人数181名が校外ボランティアに参加し充実感を得ている。</p> <p>②部活動に積極的に活動している生徒の割合について&lt;詳細はアクションプラン参照&gt;</p> <p>・全学年平均57%の生徒が部活動を積極的に行っていると答えていた。達成感や、他生徒との交流に充足感を感じている。</p>   | <p>①ボランティア等の校外活動の参加数について&lt;詳細はアクションプラン参照&gt;</p> <p>・執行部との連携、広報活動の活発化、意識向上を図る。</p> <p>②部活動に積極的に活動している生徒の割合について&lt;詳細はアクションプラン参照&gt;</p> <p>・生徒の活動時間を保証し、成果が上がるようにする。</p>                            | <p>・執行部、ボランティア、各部活動の動きを活性化させ、学校内外に情報発信していくなど環境づくりに努める。<br/>・生徒、顧問、外部指導者等の連携を深める。<br/>・年間の部活動計画に休養日、活動時間を明確にすることで、活動の充実度を高める。</p>             |

| 項目             | 実施項目に対する評価  | 次年度の課題  | 次年度の方策   |
|----------------|---|---|--|
| (6)進路指導<br>重点3 | <p>①外部模試や校内課題テスト等の検討会について<br/>&lt;詳細はアクションプラン参照&gt;</p> <p>②2年次学年末での進路目標の決定について<br/>&lt;詳細はアクションプラン参照&gt;</p> <p>③3年次での進路決定率について<br/>&lt;詳細はアクションプラン参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富山県立大学に4名合格した。</li> <li>・PTAによる模擬面接指導を実施した。</li> </ul> | <p>①模試等の検討会を実施した後の生徒や保護者への有効な指導や活用法を検討する。</p> <p>②1年次からの職業意識を持たせるため、様々な進路行事に取り組みさせる。<br/>&lt;詳細はアクションプラン参照&gt;</p> <p>③面接指導、教科指導<br/>&lt;詳細はアクションプラン参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTAとの協力体制</li> </ul> | <p>①模試等の結果を有効活用するための指導方法を示す。</p> <p>②3年間の進路指導の流れを確立する。1年次での「職業を知る会」を実施する。</p> <p>③進学希望者には、今後も個別指導を行っていく。就職希望者にはPTAの協力を頂きながらきめ細かい指導を行っていく。合格・内定後の指導も必要。</p> |
| (7)保健美化        | <p>①定期健康診断・各種検診を円滑に立案・実施した。また、生徒個々の既往症の対応も、職員の共通理解を図りながら対応することができた。</p> <p>②保健通信の発行、生徒個々に応じた対応ができた。</p> <p>③校舎内外の環境美化のために、特別清掃や美化週間を計画通り実施した。</p>   | <p>①定期健康診断後の受診率・治癒率を高める。</p> <p>②アレルギー疾患や心の健康等、多様化する生徒の健康管理に対応する。</p> <p>③全校生徒が、環境美化意識を高めるような方策を検討する。</p>   | <p>①受診が必要な生徒への面談等による指導の徹底。</p> <p>②教職員への情報を提供、および救急対応の職員研修を適時実施する。</p> <p>③美化委員会の活動をより推進し、全校生徒が美化意識を持てるよう指導する。</p>   |
| (8)図書指導        | <p>①「朝の読書」は、学年の理解や担任の指導により、10分間は読書をするという良い雰囲気が出てきている。</p> <p>②図書館オリエンテーションや種々の読書指導により、図書館の利用者数が増加し、図書館で読書をする姿が昨年度より多く見られた。</p> <p>③行事への取り組みを通して、図書委員が自主的に取り組めるようになってきた。全員参加で文化活動発表会の企画を行い、図書館報「三杉」を発行した。</p>  | <p>①「朝の読書」に対する共通理解をより一層高め、またクラス文庫のあり方などについても検討を続ける。</p> <p>②全体への利用指導をするとともに、個人への指導も一層充実させる。</p> <p>③委員会活動の目標や目的、活動内容を明確にし、自主的な活動を促す。</p>  | <p>①新着本情報や本の紹介などの広報活動を充実させることにより、読書活動の活性化を図る。</p> <p>②開かれた図書館を目指して、個々の関心に応じた読書指導の充実を図る。</p> <p>③図書委員会の生徒の自発的な活動の充実を目指し、適切な指導を行う。</p>                       |
| (9)情報          | <p>①グループウェアの有効活用を行った。(掲示板・施設予約・ショートメール・ファイル管理等)学校全体としては安定したネットワーク管理を図り、トラブルの発生はなかった。個人情報の管理や執務用PCの利用に関する規定を遵守するよう周知し、情報の流出等の問題は生じなかった。</p> <p>②HPの有効活用を行った。各分掌・委員会・教科・学年から各種データ提供を得て、本校の現況の迅速な情報発信ができた。</p>   | <p>①効果的なセキュリティ対策と適切なネットワーク管理により情報漏洩等やネットワーク障害のトラブルを防ぐ。</p> <p>②HPのCMSサイト化に伴い、迅速なHPの更新を心がける。より魅力的で効果的な情報発信の方法を研究する。</p>  | <p>①フィルタリングやウイルスプロテクトにより、トラブルの未然防止に努め、障害時には迅速な対応に努める。生徒、教職員のPC・ネットワーク利用者の規範意識を高める。</p> <p>②HPの迅速な更新のために校内各所との連携を深める。HPの効果的運用方法を引き続き検討する。</p>               |
| (10)教育相談       | <p>①普段から生徒の動向に注意し、養護教諭・教育相談係と学年・学級担任等との連携をとることができた。また、スクールカウンセラーと保健厚生部、学年とも連携を図ることができた。</p> <p>②相談室だよりを通して、生徒が問題解決能力を高められるように工夫した。</p>  | <p>①悩みを持つ生徒に対して、関係職員と連携を図り、より早期対応できるようにする。</p> <p>②学校だけでは解決できない家庭や福祉等の問題が起きた場合の対応。</p>  | <p>①生徒個々に合った指導方法を、保護者と学校関係者間で連携して立案・実行する。</p> <p>②スクールソーシャルワーカーと連携を密にして解決の手だてを模索する。</p>  |

| 項 目             | 実施項目に対する評価  | 次年度の課題   | 次年度の方策  |
|-----------------|---|--|---|
| (11) 1 学年<br>学年 | <p>①服装を整えることを重点に指導してきた。折に触れて、乱れている服装を指導し、その都度、修正できているが、一部の生徒において、指導教員によっては反抗的な態度が見られたりした。</p> <p>②進路実現において、少しでも早く目的を見つける。それに向けて取り組ませたいが、進学のための補習などでも、取り組み状況において個人差が激しい。</p>   | <p>①日頃からきちんとしてできることが最善の姿だが、乱れている場合に、素直に聞き入れ修正に応じることができる態度を養いたい。</p> <p>②生徒一人ひとりが進路目標を具体化し、目標を持って学習に取り組むことのできる環境を整える。</p>                           | <p>①保護者との連携では、その生徒にどうしてあげることがその生徒にとって良いことかを考えながら具体的な方策を話し合う。</p> <p>②「総合的な探求の時間」と科目「産業社会と人間」を中心に進路選択への意識を高め、進路指導部主催の行事をとおして進路決定につなげる。</p> |
| 2 学年            | <p>①県外進路研修やインターンシップなどの体験的な学習を通して進路意識が高まった。また進路決定の時期が近づくにつれ、生徒自身から面談や相談を求めることが増えてきた。</p> <p>②学年全体としては日々の学習・生活に対する取り組みは1年次に比べると良くなっているが、取り組み方に真剣さが見られない生徒もいる</p> <p>③すぐに指導することを徹底した結果、掃除をさぼる生徒はほとんどいなくなり、遅刻の回数も減少傾向にあるなどよい面も見られるが、挨拶や服装はまだ不十分である。</p>           | <p>①進路意識の高まりを、希望進路の実現につなげるための具体的な取り組みが必要。</p> <p>②進路実現と日々の学習・生活が強く結びついていることを意識させることが必要。</p> <p>③生活面で乱れがあることが、進路実現のためには大きく悪影響を与えることを理解させることが必要。</p> | <p>①生徒だけでなく、保護者にも進路情報が伝わるようにする。</p> <p>②進路指導部と学年が中心となり、生徒の進路希望や具体的な取り組みについて検討し、学校全体で支援する。</p> <p>③進路指導と生活指導を関連させながら指導をすすめていく。</p>         |
| 3 学年            | <p>①進路ガイダンス、PTAによる就職希望者への面接指導など様々な機会を通して各自が進路実現に向けて必要な課題を見つけ取り組んだ。今後は、進路決定後も継続して学習に取り組む意欲を持たせることが課題である。</p> <p>②社会人となる自覚を持たせ挨拶や身だしなみを整えることの大切さを考えさせながら指導にあたったが、改善につながらない生徒もいた。</p> <p>③部活動に熱心に取り組む、引退後も後輩の指導にあたる生徒が多くいた。また、学校行事の中心となることで協調性を身に付けた生徒も多かった。</p> | /  | /   |
| (12) 地域との<br>連携 | <p>①「高校生さわやか運動」を6月に2日間実施し、上市駅頭で保護者10名の参加があった。生徒の平素の様子を知る機会となった。</p> <p>②「マラソン大会」では保護者が給水活動を通して生徒を励ました。また、沿道の地域住民からも声援を受けるなど、生徒と保護者、教職員、地域が交流できる場を演出することができた。学校行事を通じて、地域に日頃の活動内容を知らせるよい機会となった。</p>   | <p>①PTA関連行事に保護者が参加しやすい環境作りを目指す。</p> <p>②学校行事に保護者が参加しやすくなるように、企画に際して、保護者・生徒の要望や地域からの要請に応えられるように留意する。</p>  | <p>①各行事の開催時期を決定する際に、PTA役員が中心となって広く会員の意見を聴く。</p> <p>②PTA役員からの働きかけや、広報活動を地道に積み上げていく。</p>  |

